

飛騨医療連携学術講演会

— 認知症患者、がん患者に対する向精神薬の使用を考える —

【日時】 平成31年4月20日(土) 14時50分～17時30分

【場所】 須田病院 大会議室

高山市国府町村山235-5 TEL 0577-72-2100

【参加費】 無料 ※ただし、薬剤師のみ単位取得研修のため会員:500円、非会員:2,000円

【お問い合わせ】 須田病院 薬剤部 定岡邦夫 TEL 0577-72-2100

製品説明 (14:50 ~ 15:00)

「アルツハイマー型認知症治療剤 イクセロンパッチ」

ノバルティスファーマ株式会社

座長

須田病院 薬剤部長 定岡 邦夫 先生

一般演題 ① (15:00 ~ 15:25)

「認知症患者における在宅介入事例」

ゆう薬局 精神科薬物療法認定薬剤師 中田 裕介 先生

一般演題 ② (15:25 ~ 15:50)

「オンコロジーエマージェンシーから始まった症例 —高Ca血症—」

高山赤十字病院 薬剤部 和仁 昇 先生

◆休憩 (15:50~16:00)

座長

須田病院 病院長 加藤 秀明 先生

特別講演(16:00~17:30)

「がん患者の精神症状はこう診る 向精神薬はこう使う」

独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター

精神科 医長 緩和ケア室長 上村 恵一 先生



独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
精神科医長・緩和ケア室長

2001年旭川医科大学卒業、北海道大学医学部精神医学講座入局
日本緩和医療学会理事、日本精神神経学会指導医・専門医、日本
臨床精神神経薬理学会専門医。総合病院における精神科医の役割
についての普及啓発、緩和ケアにおけるサイコオンコロジーの教育・
普及啓発

『[がん患者の精神症状はこう診る](#) [向精神薬はこう使う](#) [精神腫瘍医
のアプローチが25のケースでわかる](#)』より

がん患者の
精神症状は
こう診る
向精神薬は
こう使う

精神腫瘍医の
アプローチが
25のケースで
わかる

上村 恵一 / 小川 朝生 / 谷向 仁 / 船橋 英修

うつ・不眠・せん妄・
認知症・てんかん…

サイコオンコロジーのすべてがわかる決定版！
明日から使えるこんな本がほしかった！

飛騨医療連携学術講演会 参加申込書

ご施設名：

ご芳名記載欄

申し込み方法 : FAXにて受付

申し込み期限 : 平成31年 **4月12日(金)**午後1時まで

お申し込み先 : 須田病院 薬剤部

F A X : 0577-72-4231

担当者 : 定岡 邦夫